

瀬戸市橋梁長寿命化修繕計画



平成 31 年 3 月
(令和 5 年 5 月改訂)

瀬戸市 都市整備部 維持管理課

▶瀬戸市橋梁長寿命化修繕計画

目次

1. 背景・目的の整理.....	1
(1) 背景.....	1
(2) 目的.....	1
2. 計画の位置づけ.....	1
3. 基本方針の検討.....	2
(1) 計画対象.....	2
(2) 計画期間.....	4
(3) 対象橋梁の健全度状況.....	5
4. 計画策定に係る基準等（修繕・更新コストの周期、単価、耐用年数）の設定.....	7
(1) 修繕・更新コストの周期.....	7
(2) 単価の設定.....	8
(3) 耐用年数の設定.....	8
5. LCCの算定および評価.....	9
6. 新技術の活用方針及び費用の低減に関する方針.....	12
7. 集約・撤去に関する具体的な方針.....	12
8. 対策の優先順位の考え方.....	13
9. 修繕実施プログラム.....	15
10. 継続的な施設マネジメントの確立.....	31

1. 背景・目的の整理

(1) 背景

橋梁の修繕・架替えに係る費用の縮減、地域の道路網の安全性・信頼性の確保を目指して、平成23年度に橋長15m以上の橋梁を対象とした瀬戸市橋梁長寿命化修繕計画が策定されました。

平成26年度には道路法施行規則の改正により、5年に1度の頻度で定期点検を行うこととなりました。これらの定期点検の結果やこれまで実施してきた修繕工事実績の反映、また橋長15m未満の橋梁への対応など、より精度の高い計画への見直しが求められています。

(2) 目的

●道路橋

上記の背景を踏まえて、瀬戸市が管理する道路橋の安全・円滑な交通を確保し、効率的・効果的に維持管理するための橋梁長寿命化修繕計画を見直すことを目的とします。

●横断歩道橋

上記の背景を踏まえて、瀬戸市が管理する横断歩道橋の安全・円滑な交通を確保し、効率的・効果的に維持管理するための橋梁長寿命化修繕計画を見直すことを目的とします。

●大型カルバート

上記の背景を踏まえて、瀬戸市が管理する大型カルバートの安全・円滑な交通を確保し、効率的・効果的に維持管理するための橋梁長寿命化修繕計画を見直すことを目的とします。

2. 計画の位置づけ

本計画は「瀬戸市公共施設等総合管理計画」（2017年3月）に基づく、橋梁に関する個別施設計画に位置づけます。

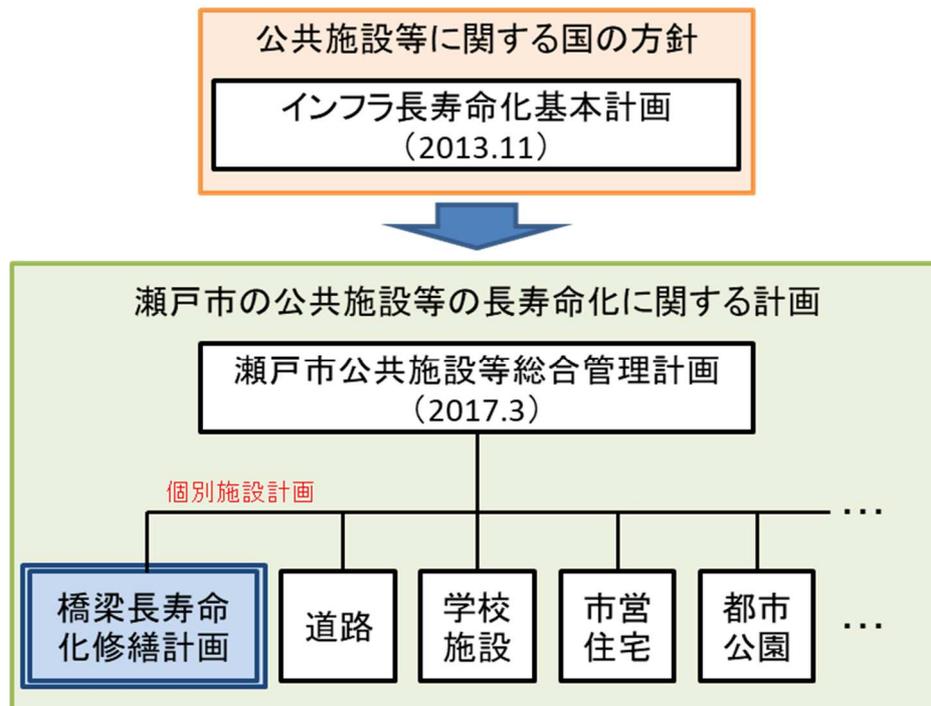


図1 計画の位置づけ

3. 基本方針の検討

(1) 計画対象

瀬戸市が管理する道路橋 311 橋、横断歩道橋 12 橋及び大型カルバート 1 基を対象とします。

●道路橋 311 橋

表 1 道路橋対象施設

管理施設の規模	RC	PC	鋼橋
橋長 15m 以上の橋梁	5 橋	36 橋	19 橋
橋長 2m 以上 15m 未満の橋梁	193 橋	31 橋	27 橋

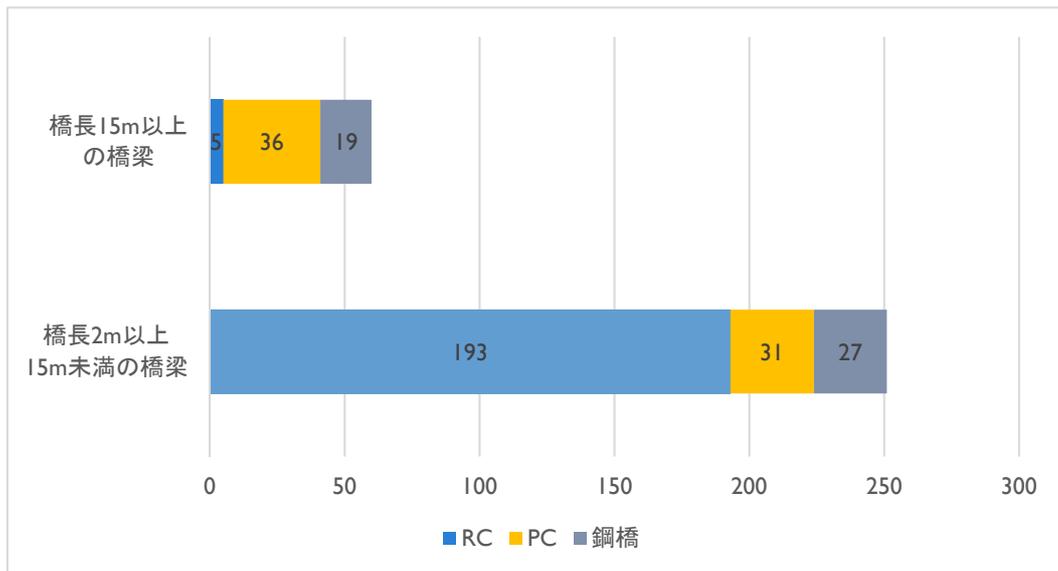


図 2 道路橋対象施設

●横断歩道橋 12 橋

表 2 横断歩道橋対象施設

管理施設の規模	RC	PC	鋼橋
横断歩道橋	-	7 橋	5 橋

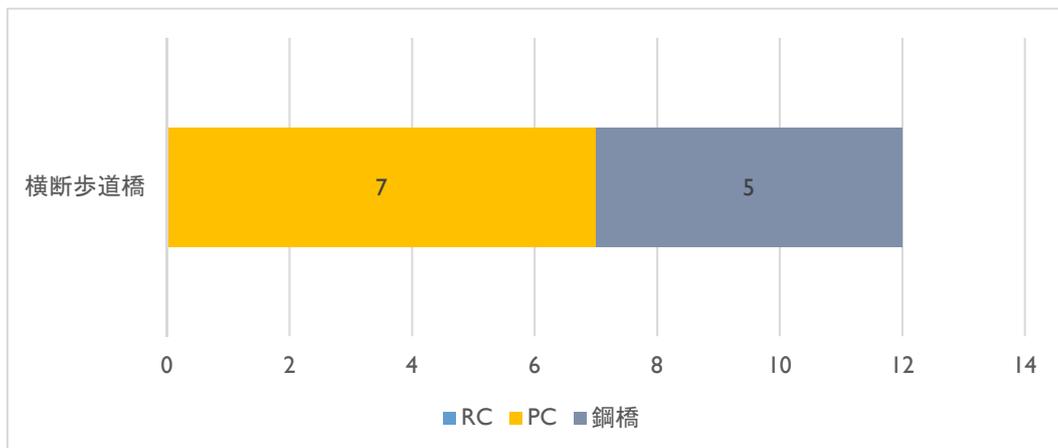


図 3 横断歩道橋対象施設

●大型カルバート1橋

表3 大型カルバート対象施設

管理施設の規模	RC	PC	鋼橋
大型カルバート	1橋	-	-

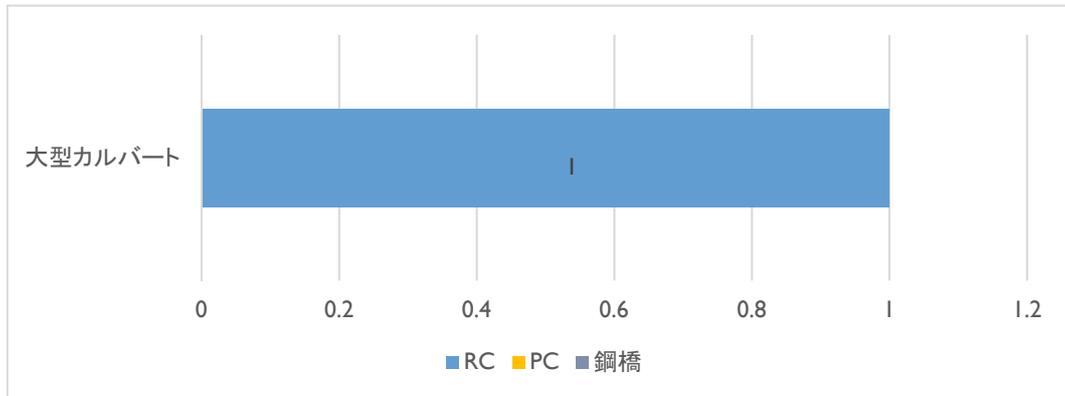


図4 大型カルバート対象施設

(2) 計画期間

●道路橋

瀬戸市公共施設等総合管理計画の見直し時期と、5年に1度の道路橋定期点検をふまえ、本計画は、平成30年度からの10年間を計画対象とし、おおむね5年に1度見直す計画とします。

●横断歩道橋

瀬戸市公共施設等総合管理計画の見直し時期と、5年に1度の横断歩道橋定期点検をふまえ、本計画は、平成30年度からの10年間を計画対象とし、おおむね5年に1度見直す計画とします。

●大型カルバート

瀬戸市公共施設等総合管理計画の見直し時期と、5年に1度の大型カルバート定期点検をふまえ、本計画は、平成30年度からの10年間を計画対象とし、おおむね5年に1度見直す計画とします。

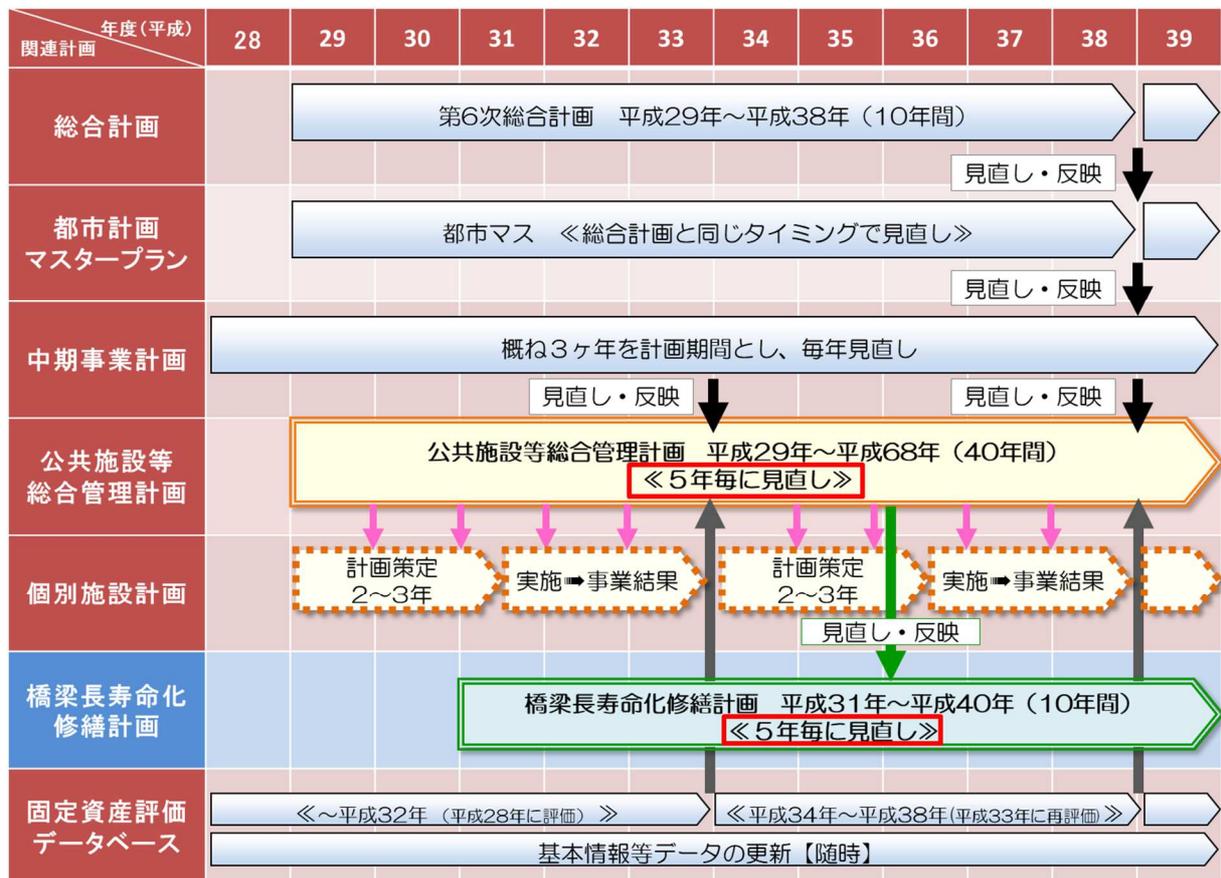


図 5 公共施設等総合管理計画に係わるロードマップ

(3) 対象橋梁の健全度状況

●道路橋

各健全度は国交省による橋梁定期点検要領（2014年6月）に基づき、表4に示す4段階の管理水準で5年に一度の定期点検により評価しています。対象橋梁の橋梁全体の健全度と部材ごとの健全度を以下に示します。

表4 定期点検結果で利用されている健全度と対応する管理水準

区分		管理水準
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

※健全性の判定区分Ⅲの橋梁（12橋）は、各橋梁の点検後5年以内に補修が完了しています。
（令和4年度追記）

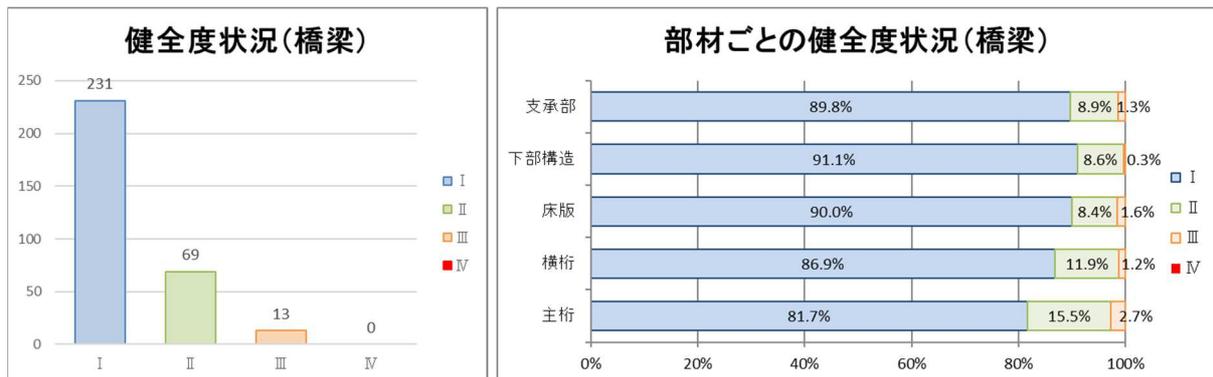


図6 橋梁の健全度状況（左：全体、右：部材単位）

橋梁は、健全度Ⅱ、Ⅲが82橋あり、予防保全的な観点から、約4分の1の橋梁で修繕が必要と言えます。また、部材ごとの健全度を見ると、横桁、主桁の主要部材が比較的劣化が進行していると言えます。

●横断歩道橋

各健全度は国交省による横断歩道橋定期点検要領（2019年2月）に基づき、表4に示す4段階の管理水準で5年に一度の定期点検により評価しています。対象橋梁の橋梁全体の健全度と部材ごとの健全度を以下に示します。

※横断歩道橋（3橋）は、各橋梁の点検後5年以内に補修が完了しています。（令和4年度追記）

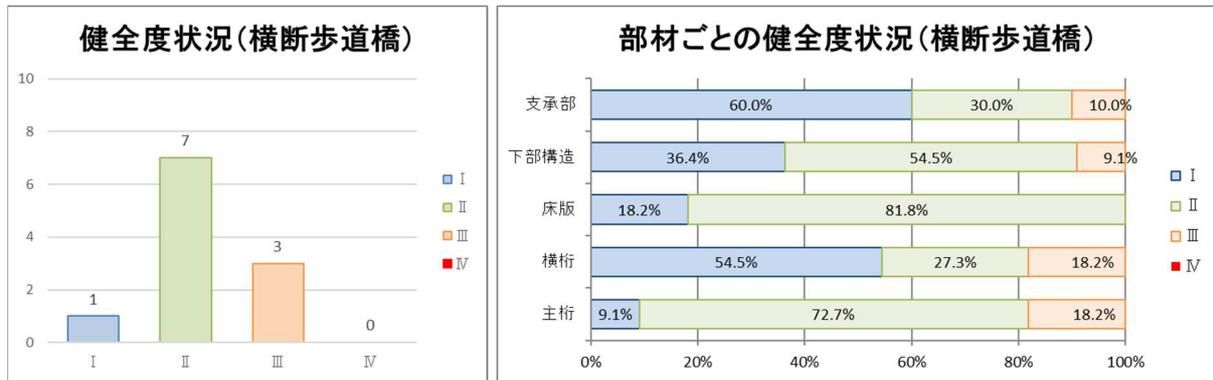


図7 横断歩道橋の健全度状況（左：全体、右：部材単位）

横断歩道橋は、健全度II、IIIが10橋あり、予防保全的な観点から、ほとんどの施設において修繕が必要と言えます。また、部材ごとの健全度を見ると、横桁、主桁の2割近くが健全度IIIとなっており、比較的劣化が進行していると言えます。

●大型カルバート

各健全度は国交省によるシェッド、大型カルバート定期点検要領（2019年2月）に基づき、表4に示す4段階の管理水準で5年に一度の定期点検により評価しています。対象橋梁の橋梁全体の健全度と部材ごとの健全度を以下に示します。

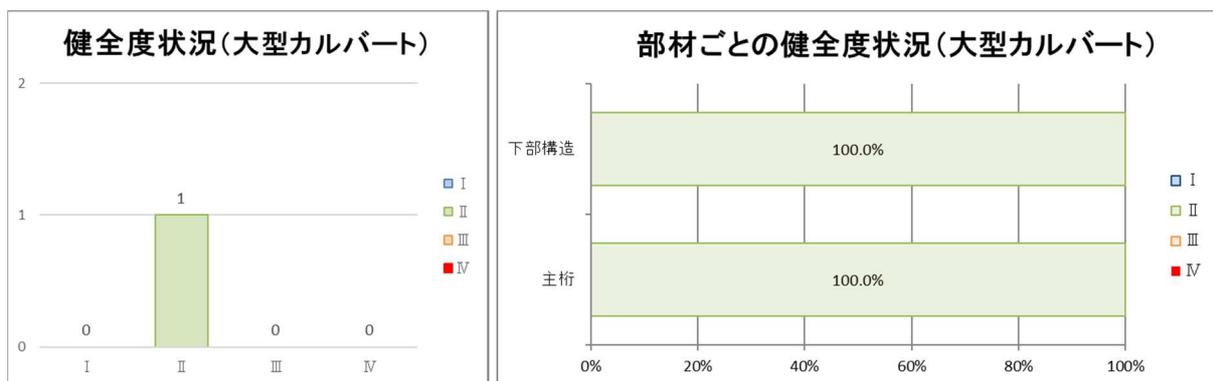


図8 大型カルバートの健全度状況（左：全体、右：部材単位）

大型カルバート（1施設）は施設全体の健全度がIIであり、予防保全的な観点から修繕が必要と言えます。

4. 計画策定に係る基準等（修繕・更新コストの周期、単価、耐用年数）の設定

(1) 修繕・更新コストの周期

●道路橋

予防保全型の維持管理では、橋梁の健全度がⅡの末期に達した場合に補修を行うことで、橋梁を長寿命化するシナリオです。

一方で事後保全型の維持管理では、従来の通り橋梁の健全度がⅢの末期に達した場合に大規模な補修または架け替えを行うシナリオです。

これらの維持管理方法のうち、望ましい方法を採用します。

●横断歩道橋

予防保全型の維持管理では、横断歩道橋の健全度がⅡの末期に達した場合に補修を行うことで、横断歩道橋を長寿命化するシナリオです。

一方で事後保全型の維持管理では、従来の通り横断歩道橋の健全度がⅢの末期に達した場合に大規模な補修または架け替えを行うシナリオです。

これらの維持管理方法のうち、望ましい方法を採用します。

●大型カルバート

予防保全型の維持管理では、大型カルバートの健全度がⅡの末期に達した場合に補修を行うことで、大型カルバートを長寿命化するシナリオです。

一方で事後保全型の維持管理では、従来の通り大型カルバートの健全度がⅢの末期に達した場合に大規模な補修または架け替えを行うシナリオです。

これらの維持管理方法のうち、望ましい方法を採用します。

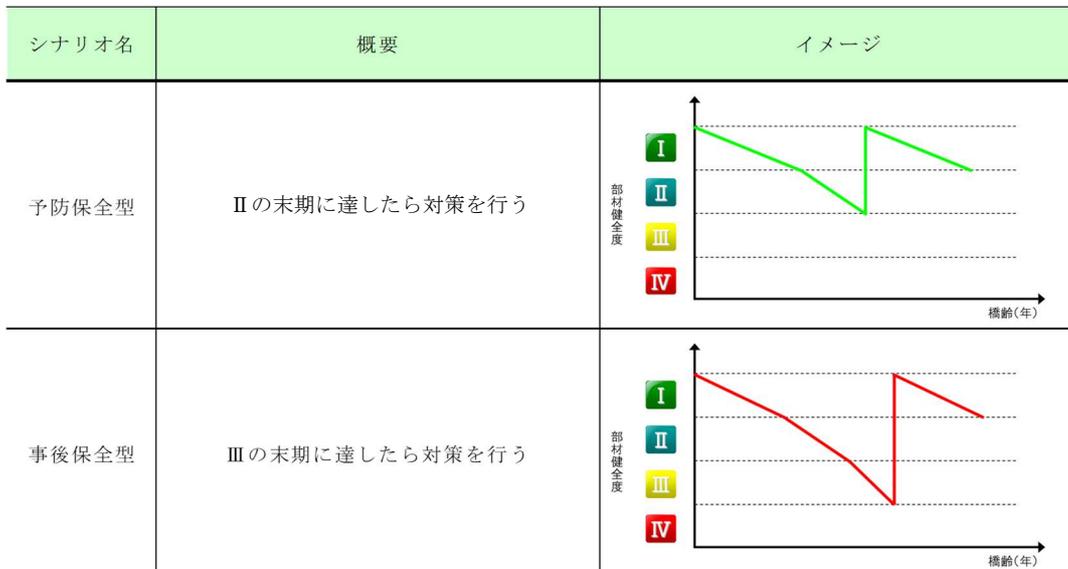


図 9 修繕・更新の周期イメージ

(2) 単価の設定

●道路橋

過去に瀬戸市の橋梁に発生した損傷に対して、どのような補修工法が採用され、補修数量、補修費用がいくらであるかを整理することにより、将来必要となる補修工法や補修数量、単価を設定します。

●横断歩道橋

過去に瀬戸市の横断歩道橋に発生した損傷に対して、どのような補修工法が採用され、補修数量、補修費用がいくらであるかを整理することにより、将来必要となる補修工法や補修数量、単価を設定します。

●大型カルバート

過去に瀬戸市の大型カルバートに発生した損傷に対して、どのような補修工法が採用され、補修数量、補修費用がいくらであるかを整理することにより、将来必要となる補修工法や補修数量、単価を設定します。

(3) 耐用年数の設定

●道路橋

定期点検により劣化状況を把握し、健全度が低下している橋梁をその都度補修していくため、構造躯体の健全性は保たれると想定して、本計画では耐用年数は定めないものとします。

●横断歩道橋

定期点検により劣化状況を把握し、健全度が低下している橋梁をその都度補修していくため、構造躯体の健全性は保たれると想定して、本計画では耐用年数は定めないものとします。

●大型カルバート

定期点検により劣化状況を把握し、健全度が低下している橋梁をその都度補修していくため、構造躯体の健全性は保たれると想定して、本計画では耐用年数は定めないものとします。

5. LCC の算定および評価

ここでは、修繕にかかる費用を事後保全型と予防保全型で比較します。

事後保全型の対策を実施した場合

●道路橋

今後 50 年間で橋梁では約 40 億円の修繕費用が必要となります。

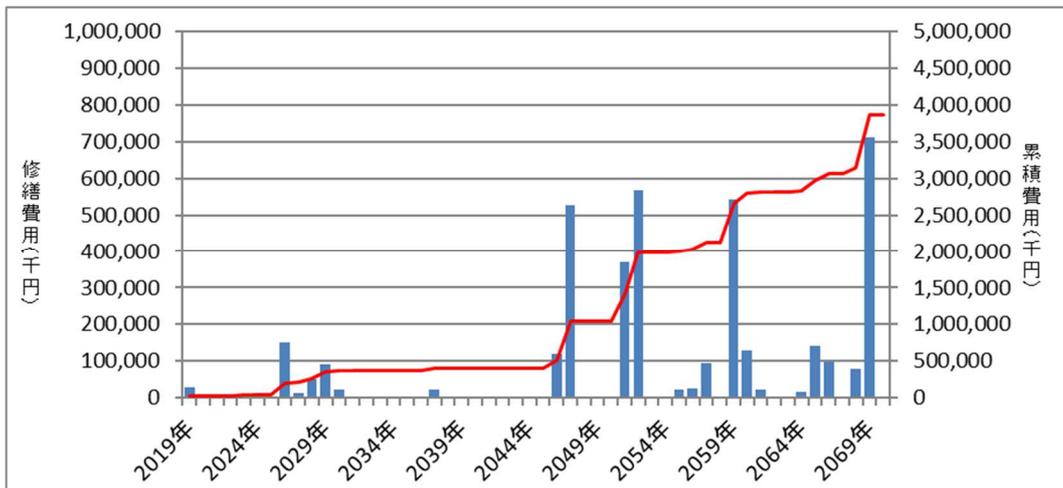


図 10 橋梁の将来 50 年間の事後保全型の修繕費

●横断歩道橋

今後 50 年間で横断歩道橋では約 5 億円の修繕費用が必要となります。

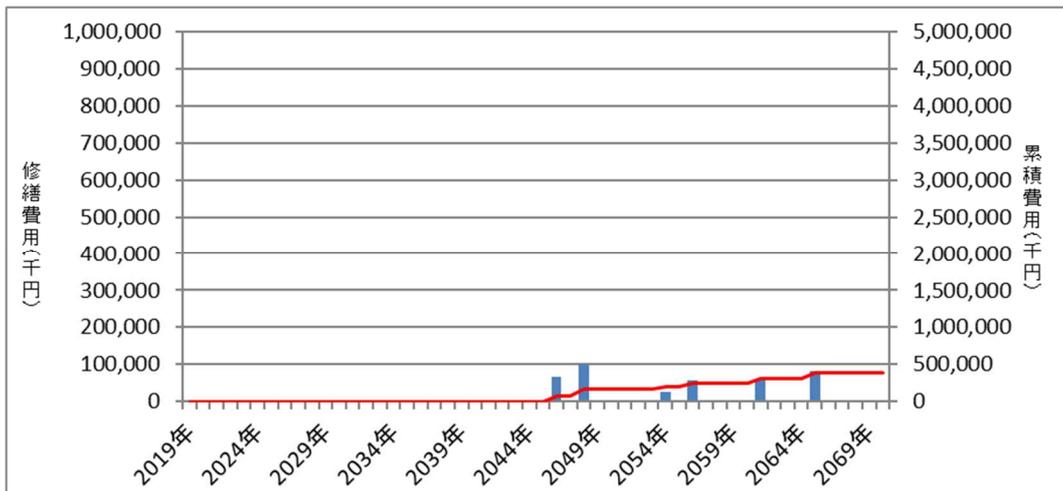


図 11 横断歩道橋の将来 50 年間の事後保全型の修繕費

●大型カルバート

今後 50 年間で大型カルバートでは約 1 億円の修繕費用が必要となります。

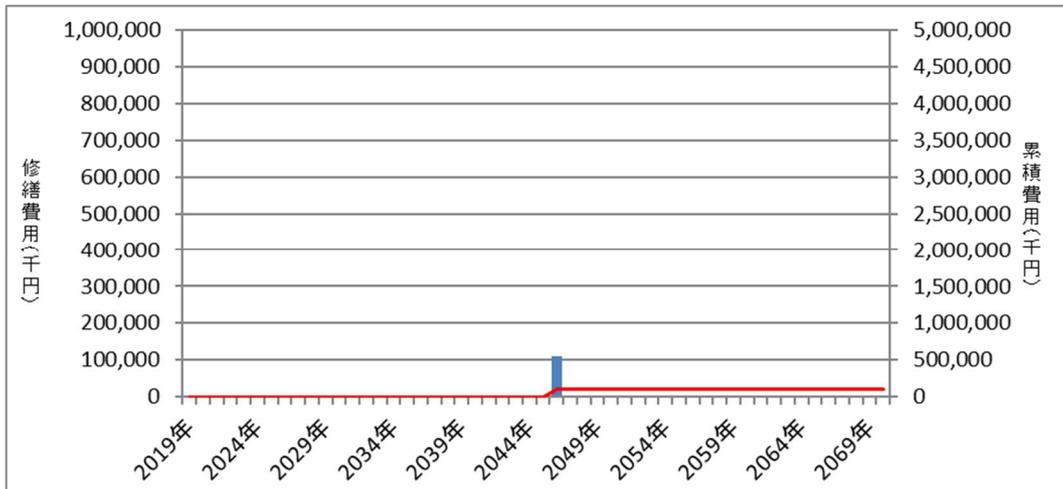


図 1 2 大型カルバートの将来 50 年間の事後保全型の修繕費

予防保全型の対策を実施した場合

●道路橋

今後 50 年間で橋梁では約 9 億円の修繕費用となります。事後保全型と比較して約 78%低減することが可能となります。

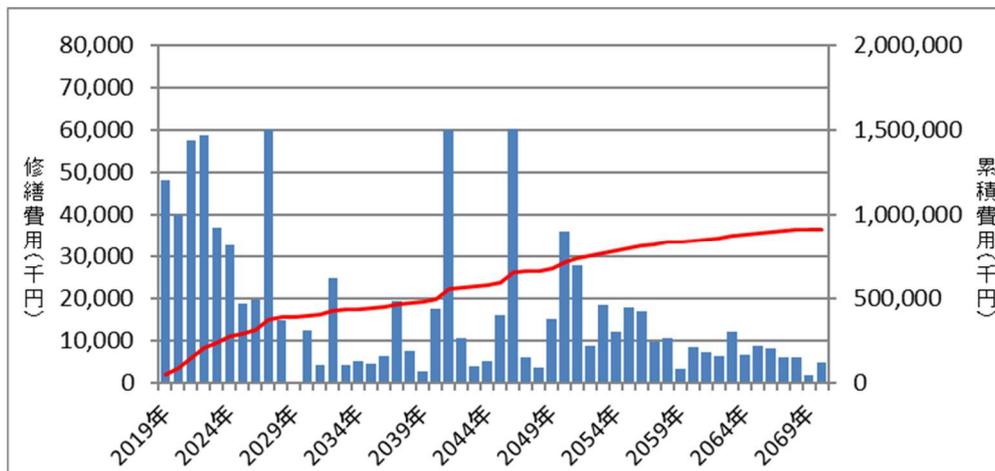


図 1 3 橋梁の将来 50 年間の予防保全型の修繕費

●横断歩道橋

今後 50 年間で横断歩道橋では約 0.9 億円の修繕費用となり、事後保全型と比較して約 82% 低減することが可能となります。

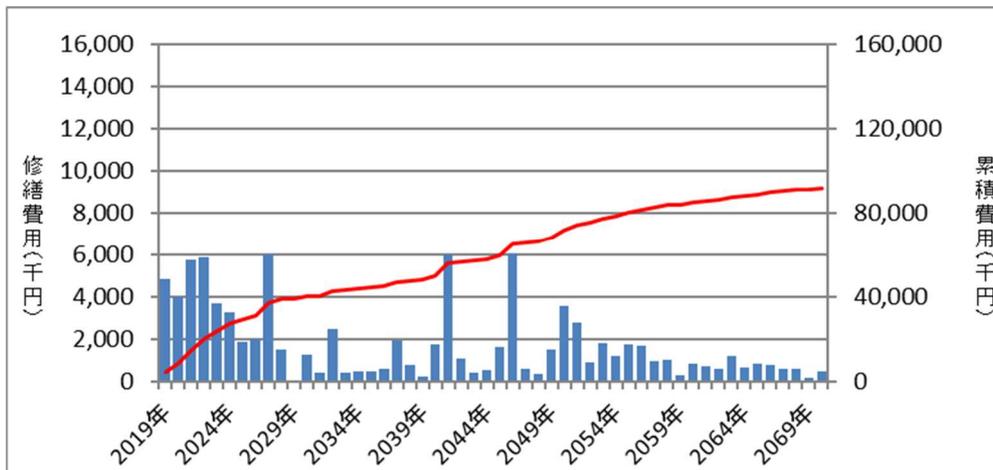


図 1 4 横断歩道橋の将来 50 年間の予防保全型の修繕費

●大型カルバート

今後 50 年間で大型カルバートでは約 0.3 億円の修繕費用となり、事後保全型と比較して約 70% 低減することが可能となります。

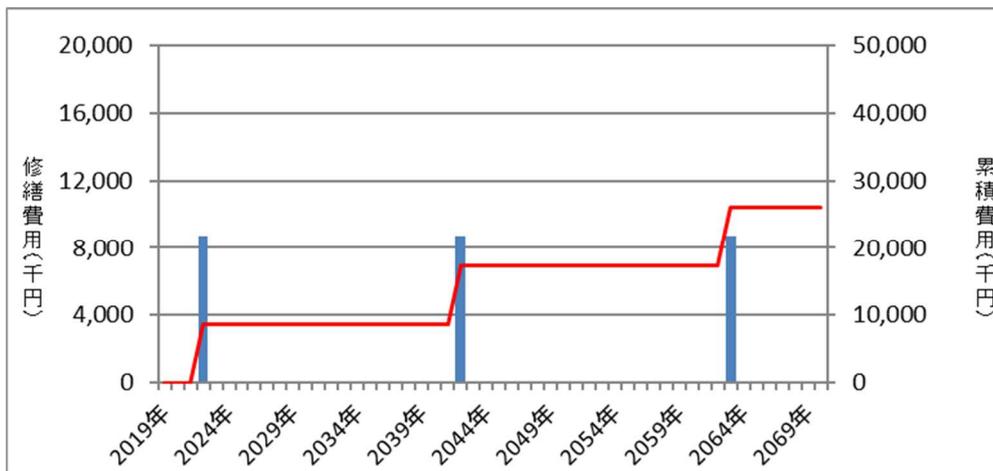


図 1 5 大型カルバートの将来 50 年間の予防保全型の修繕費

大きな劣化が生じる前に改修を実施することで、市民への安全・安心を向上させるとともに、ライフサイクルコストの最小化を図ります。

6. 新技術の活用方針及び費用の低減に関する方針

●道路橋

予防保全型の維持管理の導入によるライフサイクルコストの低減を図るとともに、点検や修繕等の維持管理に係る新技術等の活用によりメンテナンスの高度化・効率化を図り、市で管理する道路橋のうち2～5橋程度で新技術の活用を目指し、2028年までに約32万円のコスト低減を目指します。

●横断歩道橋

予防保全型の維持管理の導入によるライフサイクルコストの低減を図るとともに、点検や修繕等の維持管理に係る新技術等の活用によりメンテナンスの高度化・効率化を図り、市で管理する横断歩道橋のうち1～2橋程度で新技術の活用を目指し、2028年までに約42万円のコスト低減を目指します。

●大型カルバート

予防保全型の維持管理の導入によるライフサイクルコストの低減を図るとともに、点検や修繕等の維持管理に係る新技術等の活用によりメンテナンスの高度化・効率化を図り、市で管理する大型カルバート1基で新技術の活用を目指し、2028年までに約11万円のコスト低減を目指します。

7. 集約・撤去に関する具体的な方針

●道路橋

集約・撤去については、以下の取組を実施することで、費用の低減や事業の効率化に取組み、2028年までに約65万円のコスト低減を目指します。

- ・迂回路が存在する、交通量が少ない、健全度が低いなどの条件に該当する1橋に対して集約・撤去を目指します。

●横断歩道橋

集約・撤去については、以下の取組を実施することで、費用の低減や事業の効率化に取組み、2028年までに約97万円のコスト低減を目指します。

- ・迂回路が存在する、通行量が少ない、健全度が低いなどの条件に該当する1橋に対して集約・撤去を目指します。

8. 対策の優先順位の考え方

●道路橋

対策優先順位は、瀬戸市公共施設等総合管理計画の道路施設の優先度による、「経過年数」、「健全度」、「耐震対策」、「路線の優先度」の指標に加え、「橋長」、「迂回路の有無」、「第3者被害の有無」、「人道橋」を考慮します。

●横断歩道橋

対策優先順位は、瀬戸市公共施設等総合管理計画の道路施設の優先度による、「経過年数」、「健全度」、「耐震対策」、「路線の優先度」の指標に加え、「橋長」、「迂回路の有無」、「第3者被害の有無」、「人道橋」を考慮します。

●大型カルバート

対策優先順位は、瀬戸市公共施設等総合管理計画の道路施設の優先度による、「経過年数」、「健全度」、「耐震対策」、「路線の優先度」の指標に加え、「橋長」、「迂回路の有無」、「第3者被害の有無」、「人道橋」を考慮します。

表5 評価点の算定基準

評価点算定基準(橋梁)	
評価項目	評価基準
経過年数 H30.4.1現在	50年以上 30年以上50年未満 30年未満
健全度 近接目視による点検結果	Ⅳ Ⅲ Ⅱ Ⅰ
耐震対策 対策済 or 未対策 路線の優先度	未対策 対策済
認定路線優先度判定基準の評価ポイントを引用 (評価ポイント) × (A/50) ※A=配点	
迂回路 有 or 無	無 有
第3者被害 有 or 無	有 無
人道橋 Yes or No	Yes No
橋長	

優先順位の算定結果を次に示します。

表6 橋梁の優先順位の算定結果（一部抜粋）

番号	施設名	優先順位
D017	萩橋	1
D021	白岩橋	2
D036	東海上橋	3
E023	美濃池橋	4
F012	宮脇橋	5
F115	稚児橋	6
F186	南大坪橋	7
F027	無名橋15	8
F015	南五位塚橋	9
F005	陣屋小橋	10
F221	松山跨線橋	11
F203	無名橋75	12
B033	上水野線BOX1	13
E006	南橋	14
B003	河鹿橋	15
F173	しおから橋	16
D002	宮前2号橋	17
D009	拝戸橋	18
D030	横山橋	19
C012	吉田橋	20
B014	孫田橋	21
B020	下八幡橋	22
D032	西窯橋	23
D033	長瀬橋	24
C008	北脇橋	25
F216	無名橋84	26
A006	宮前橋	27
B006	宮川橋	28
C006	見返橋	29
D014	東山橋	30

表7 横断歩道橋の優先順位の算定結果

番号	施設名	優先順位
H005	八幡線八幡台歩道橋1	1
H006	八幡線八幡台歩道橋2	2
H007	菱野台1号線菱野台歩道橋	3
H009	新開地赤重線原山町歩道橋	4
H003	原山線原山台歩道橋3	5
H002	原山線原山台歩道橋2	6
H004	萩山線萩山大歩道橋1	7
H001	原山線原山台歩道橋1	8
H008	宮川線末広町歩道橋	9
H010	駅前東横山線歩道橋	10
H011	松山東山線東山町歩道橋	11

表8 大型カルバートの優先順位の算定結果

番号	施設名	優先順位
1	上水野線BOX2	1

9. 修繕実施プログラム

今後10年間の修繕実施プログラムを下記に示します。

修繕実施プログラムは、毎年度の点検結果に基づいて更新します。

表9 愛知県瀬戸市 橋梁の修繕実施プログラム

優先順位	橋梁番号	橋梁名	橋種※1	交差物件	架設年次	供用年数	路線名	路線番号	所在地	橋長(m)	幅員(m)	最新の点検結果		対策の内容・時期 (○:定期点検 △:調査・設計 ●:補修 □:耐震補強 ◎:架替え ×:撤去・移管等)										主な補修工法	補修実施年(実績)					
												点検年度	判定区分	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年			2027年	2028年	2029年		
1	D017	栴橋	RCT桁・床版橋	金地川	1964	55	上品野三國山線	221	瀬戸市上品野町	5,550	4,020	2016	Ⅲ	△		● 6,190	○					○			○			ひびわれ注入工 断面修復工		
2	D021	白岩橋	RCT桁・床版橋	白岩川	1978	41	上品野三國山線	221	瀬戸市白岩町	4,340	6,250	2016	Ⅲ	△			● 6,340	○						○			ひびわれ注入工 断面修復工			
3	D036	東海上橋	RCT桁・床版橋	海上川	1961	58	瀬戸海上線	249	瀬戸市海上町	3,200	4,660	2016	Ⅲ	△			● 5,950	□	○							○		ひびわれ注入工 断面修復工		
4	E023	美濃池橋	鋼橋	水無瀬川	1972	47	高鉄神川1号線	12078	瀬戸市美濃池町	18,400	2,600	2016	Ⅲ	△	● 5,890	○										○		ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工	2018	
5	F012	宮脇橋	RCT桁・床版橋	瀬戸川 一級河川	1985	34	宮脇橋東本町線	2034	瀬戸市新道町	11,700	4,800	2016	Ⅲ	△	● 5,840	○											○		ひびわれ注入工 断面修復工	2018
6	F115	権児橋	鋼橋	蛇ヶ湖川	1974	45	下半田川余床線	11022	瀬戸市北丘町	10,300	6,030	2017	Ⅲ	○ △	● 26,390	○									○			ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工	2018	
7	F186	南大坪橋	鋼橋	吉田川	1975	44	大坪屋戸線	12355	瀬戸市大坪町	8,350	6,500	2016	Ⅲ	△	● 20,000	○										○		ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工	2018	
8	F027	無名橋15	RCT桁・床版橋	古瀬戸川	1961	58	東古瀬戸1号線	3039	瀬戸市馬ヶ城町	5,800	9,350	2016	Ⅲ	△		● 7,200	○									○		ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工		
9	F015	南五位塚橋	RCT桁・床版橋	榎屋田川	1977	42	五位塚台1号線	3001	瀬戸市榎屋田町	5,750	6,530	2016	Ⅲ	△			● 15,000	○								○		ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工		
10	F005	陣屋小橋	RCT桁・床版橋	陣屋川	1972	47	上陣屋東安戸2号線	1011	瀬戸市上陣屋町	5,320	4,150	2016	Ⅲ	△	● 8,250	○										○		ひびわれ注入工 断面修復工	2018	
11	F221	松山跨線橋	PCT桁・床版橋	愛知環状鉄道	1977	42	- (認定予定)		瀬戸市北松山町	11,820	2,400	2017	Ⅲ	○	△	● 26,000	□	○								○		ひびわれ注入工 断面修復工		
12	F203	無名橋75	鋼橋	榎屋田川	1961	58	西古瀬戸3号線	3069	瀬戸市西古瀬戸町	8,000	3,700	2016	Ⅲ	△	● 23,000	○										○		ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工	2018	
13	B033	上水野線BOX1	RCT桁・床版橋	市道	1992	27	上水野線		瀬戸市上本町	10,354	10,800	2017	Ⅱ	○			○ △		● 4,340	○						○		ひびわれ注入工 断面修復工		
14	E006	南橋	RCT桁・床版橋	瀬戸川 一級河川	1961	58	西本町南橋線	6004	瀬戸市西蔵所町	16,700	16,950	2016	Ⅱ				○									○		ひびわれ注入工 断面修復工		
15	B003	河寛橋	鋼橋	鳥原川 その他	1967	52	岩屋堂線	104	瀬戸市岩屋町	10,000	5,000	2015	Ⅱ		△	○		● 38,000	□								○		ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工	

※1: 橋種は、簡易に表現するため、①RCT桁・床版橋、②PCT桁・床版橋、③鋼橋の3種類で分類しています。

優先順位	橋梁番号	橋梁名	橋種	交差物件	架設年次	供用年数	路線名	路線番号	所在地	橋長(m)	幅員(m)	最新の点検結果 点検年度 判定区分	対策の内容・時期 (○: 定期点検 △: 調査・設計 ●: 補修 □: 耐震補強 ◎: 架替え ×: 撤去・移管等)										主な補修工法	補修実施年 (実績)				
													2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年			2027年	2028年	2029年	
41	E016	西山橋	鋼橋	蛇ヶ淵川 摩用河川	1974	45	下半田川4号線	11015	瀬戸市下半田川町	14,500	4,600	2015 II						● 12,900 □	○					○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工			
42	F195	小田妻2号橋	鋼橋	小田妻川	1975	44	すみれ台15号線	20015	瀬戸市小田妻町	13,400	6,700	2016 II						○ ● 16,100 □							○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工		
43	F125	広之田橋	RCF桁・床版橋	山崎川	1979	40	北丘広之田線	11033	瀬戸市広之田町	11,600	7,780	2016 II	□					○ △							○	ひびわれ注入工 断面修復工		
44	F044	春雨橋	鋼橋	一里塚川	1982	37	春雨2号線	5038	瀬戸市一里塚町	9,600	6,000	2016 II						○	● 10,300 □	○						○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工	
45	F028	まんじ橋	鋼橋	古瀬戸川	1983	36	まんじ橋線	3041	瀬戸市古瀬戸町	9,500	5,000	2016 II						○	● 8,700 □						○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工		
46	F166	南弁天橋	鋼橋	弁天川	1973	46	西脇弁天線	12202	瀬戸市新田町	9,000	3,500	2016 II						○	● 6,100 □		○					○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工	
47	F156	平方橋	鋼橋	井林川	1964	55	東赤重12号線	12099	瀬戸市東赤重町	7,400	4,700	2016 II						○	● 6,400 □						○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工		
48	F135	寺前橋	鋼橋	金地川	1962	57	祥雲寺線	11062	瀬戸市上品野町	7,040	4,610	2016 II						○	● 5,800 □						○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工		
49	F119	中島小橋	鋼橋		1970	49	上半田川4号線	11027	瀬戸市上半田川町	6,800	3,800	2016 II						○	● 5,000 □						○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工		
50	F176	八幡中橋	鋼橋	八幡川	1974	45	山口4号線	12305	瀬戸市山口町	6,680	3,700	2016 II						○	● 4,800 □						○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工		
51	F019	無名橋14	RCF桁・床版橋	西紺屋田川	1959	60	紺屋田2号線	3030	瀬戸市紺屋田町	6,350	8,200	2016 II						○	● 2,440 □							○	ひびわれ注入工 断面修復工	
52	F021	南紺屋田橋	RCF桁・床版橋	紺屋田川	1978	41	紺屋田4号線	3032	瀬戸市紺屋田町	6,200	5,350	2016 II						○	● 1,840 □							○	ひびわれ注入工 断面修復工	
53	F035	戸越橋	RCF桁・床版橋	白藤川	1978	41	北戸越線	4040	瀬戸市北白坂町	6,100	4,250	2016 II						○	● 1,610 □							○	ひびわれ注入工 断面修復工	
54	F001	岩池橋	RCF桁・床版橋	陣屋川	1965	54	下陣屋3号線	1004	瀬戸市下陣屋町	6,000	5,500	2016 II						○	● 1,840 □	○						○	ひびわれ注入工 断面修復工	
55	F025	古瀬戸小橋	RCF桁・床版橋	古瀬戸川	1973	46	西古瀬戸1号線	3037	瀬戸市西古瀬戸町	5,800	4,900	2016 II						○	● 1,690 □	○						○	ひびわれ注入工 断面修復工	
56	F174	無名橋68	RCF桁・床版橋	今林川	1977	42	石田田中2号線	12281	瀬戸市石田町	5,050	8,900	2016 II						○	● 2,210 □		○					○	ひびわれ注入工 断面修復工	
57	F191	長洞橋	RCF桁・床版橋	河川	1975	44	長洞線	12372	瀬戸市上之山町	4,570	4,580	2016 II						○	● 1,450 □							○	ひびわれ注入工 断面修復工	
58	F103	無名橋41	RCF桁・床版橋	河川	1960	59	上水野上本町線	10116	瀬戸市上本町	4,030	3,500	2016 II						○	● 1,240 □		○					○	ひびわれ注入工 断面修復工	
59	F016	五位塚2号橋	RCF桁・床版橋	五位塚川	1973	46	五位塚台1号線	3001	瀬戸市五位塚町	3,920	6,500	2016 II						○	● 1,600 □							○	ひびわれ注入工 断面修復工	
60	F179	南天満橋	RCF桁・床版橋	北山川	1979	40	八幡2号線	12322	瀬戸市八幡町	3,050	9,900	2016 II						○	● 1,750 □							○	ひびわれ注入工 断面修復工	
61	F153	無名橋64	RCF桁・床版橋	河川	1968	51	高根美濃池2号線	12081	瀬戸市高根町	2,500	8,450	2016 II						○	● 1,460 □	○						○	ひびわれ注入工 断面修復工	
62	F134	無名橋53	鋼橋	河川	1974	45	上品野9号線	11061	瀬戸市上品野町	2,380	3,000	2016 II						○	● 1,900 □		○					○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工	
63	F058	無名橋21	RCF桁・床版橋	河川	1964	55	川端市場線	7006	瀬戸市川端町	2,200	4,700	2016 II						○	● 1,120 □							○	ひびわれ注入工 断面修復工	
64	A011	屋戸橋	鋼橋	一級河川 矢田川	1979	40	山口線	123	瀬戸市若宮町	45,200	8,200	2017 II	○					○ △								○	ひびわれ注入工 断面修復工 塗装塗替工	
65	A014	台六橋	RCF桁・床版橋	太六川	1972	47	山口出来町線	125	瀬戸市弁天町	15,400	8,300	2016 II						○	● 4,850 □							○	ひびわれ注入工 断面修復工	

10. 継続的な施設マネジメントの確立

瀬戸市の橋梁長寿命化修繕計画の継続的なマネジメント体制を下図に示します。

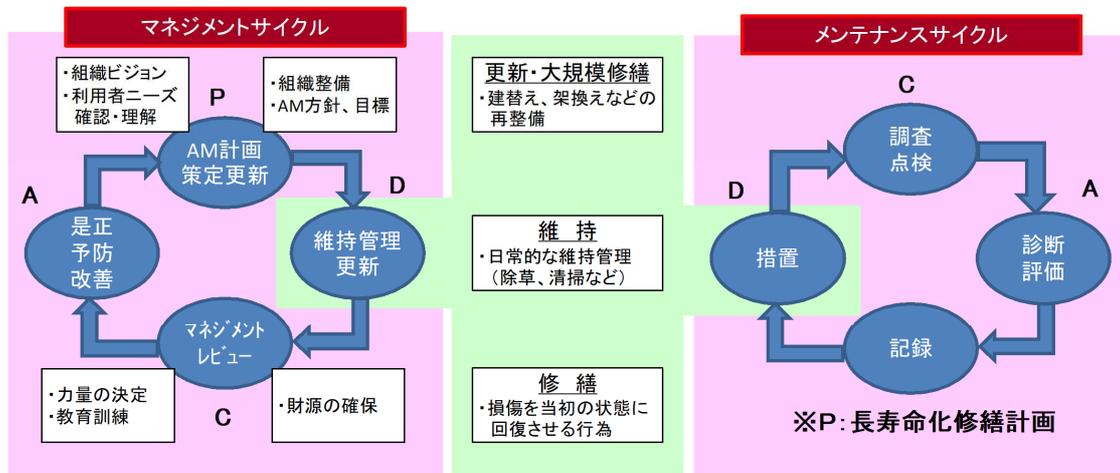


図3 長寿命化計画のマネジメントサイクル



THE CITY OF CERAMICS
SETO, JAPAN

い い も ん
せ と も ん

SETO AICHI
